



私たちは、平和な社会の実現をめざして、命の尊さを考え、お互いの人権を守り安心できる暮らしづくりを進める場を広げていきます。

いのち たいせつ



平和のとりくみ「ミャンマーで見た子どもたちの笑顔」(2021/2/6)

JICA国際協力推進員、青年海外協力隊員のお二人を講師にお迎えし、JICAの取り組みについて、またミャンマーで活動されてきたこと、特に関わった子どもたちの様子やその国の情勢などのお話がありました。当日はライブビューイングを設置し、オンラインでは各ご自宅から30名の参加がありました。

参加者の声

日本にいると普通の生活を送ることが当たり前と思ってしまうがちですが、世界には苦しんでいる人、助けを求めている人たちがたくさんいることを常に頭において、世界中の人たちが幸せにくらせるよう、自分を取り組める活動をしていきたいと思えます。



オンライン配信の様子

「はじまるばこ」の取り組み

コープしがでは、滋賀県にお住まいの、1歳未満の赤ちゃんのおられるご家庭を対象に、便利な育児サポート商品の詰め合わせ「はじまるばこ」を無料でプレゼントしています。



ピースアクションinヒロシマ・ナガサキ～オンラインこども平和会議～(8/8)

2020年8月8日、広島県生協連・長崎県生協連と日本生協連の共催で「2020ピースアクション inヒロシマ・ナガサキ～オンラインこども平和会議～」を開催しました。今年は新型コロナウイルスの感染防止のため、オンラインを活用した形式で開催され、「戦争や核兵器の使用など、争いごとをなくすため私たちにできること」をテーマに話し合いました。滋賀県を代表して「オンラインこども平和会議」に甲賀市の小学生お二人が参加され、参加インタビューは「東地区平和のつどい」にて放映しました。



参加されたお二人

参加された小学生の感想

オンラインで同じグループだった長崎の人は、今でも原爆の日には学校に集まって祈っていることなど聞いてびっくりしました。オンラインでの参加は初めてで緊張しましたが大学生や高校生の方がうまくすすめてくれて良かったです。

核兵器廃絶をめざして

●ヒバクシャ国際署名の取り組み

核兵器廃絶を願う被爆者の願いに日本や世界の人々とつながり国連に届ける活動で、コープしがでは2017年から取り組みを行い56,442筆の想いが集まりました。生協も含め全国で12,612,798人が署名しました。参加組合員からは、「署名を通して少しでも平和な世の中になってほしい」などと声が寄せられました。

ヒバクシャ国際署名は2020年に、平和団体IPB（国際平和ビューロー）からシヨーン・マクブライド平和賞を受賞しました。



●国連「核兵器禁止条約の発効」についての理事会声明

コープしがでは平和政策に基づき、「核兵器禁止条約」の発効を歓迎するとともに、世界でヒロシマ・ナガサキの惨事を繰り返さないために、核兵器廃絶をめざして世界の人々とともに取り組むことを理事会声明として発信しました。



キッチンカー健康教室



食を支えるコープしがが「地域での健康づくり」のお役立ちとして行っている出前型の健康教室です。(無料) 赤いキッチンカーで滋賀県内の高齢者や子育てのサロン・サークルなどに伺って、クイズを交えながら健康のお話やレシピを紹介しています。

新型コロナウイルスの感染拡大により一時休止していましたが、7月より「試食のない健康教室」を再開し、11月からは「子育てサロン向けのプログラム」も開始しました。

2020年度開催回数：40回



健康教室の様子